

研修だより

平成30年11月19日

No. 16

生保内小学校 研修部



☆ 公開が終わり… ☆

公開が終わり、二週間が過ぎました。公開の際に提示した単元の学習もまとめを迎えていると思います。学校報でも紹介されましたが、4年生の盛岡市のPR活動に同行させてもらい、短時間でしたが、子どもたちが公開の際に考えたPR作戦を基に、とても一生懸命取り組んでいる姿には感動しました。生活・総合、それぞれの教科を通して高められた資質・能力が他教科でも発揮されたり、自己有用感、自尊感情の向上につながったりすることができればと思います。(4年生以上では5日に行う学習状況調査において、数値として表れるでしょう)

この後は、27日には特支関係の訪問、来月は図工の訪問がありますが、年度末に向けて、公開を通して見えてきた課題や、生活、総合以外の教科や領域(道徳やプログラミング学習などの新たな取組)の指導、基礎基本の定着などにじっくり向き合っていければと思います。

◇ 12月の研修 ◇

1 12月の研修計画(研修日・出張等)

| 期 日 | 曜日 | 研 修 名 ・ 内 容 |
|--------|----|--|
| 11月27日 | 火 | 特別支援計画訪問(竹組)・特別支援教育セミナー(通級) * 詳細は別紙 |
| 11月29日 | 木 | 全体研修会(12/13 6 桃図工計画訪問指導案検討会) |
| 12月5日 | 水 | 県学力学習状況調査 * 3年以下のCRTは実態に合わせて適宜実施 * 詳細は別紙 |
| 12月13日 | 木 | 図工計画訪問(6桃…Y.先生) * 5校時~授業提示, 放課後~授業研究会 |

2 学習指導

① 12月の目標

学習パワーアップ! パート2
~2018年をまとめ、新しい年をむかえよう!~

② 具体的な取組

基礎的基本的な学力の確実な定着とその向上のための取組 (継続)

☆ 重点実践事項

I 学ぶことの楽しさや大切さが味わえるような学習の展開とともに、基礎学力の定着を図られる学習の展開とのバランスを図る。(単元全体を通して)

→学習内容に応じて、主たる学習のポイントを確認し、授業に臨む等

II 自力思考と集団思考の時間配分とそれぞれの場面での教師側の手立ての工夫をする。

- 問題の難易度, 子どもたちの様子を踏まえた時間配分(全員が自力で解決までたどり着かなくとも, 考える方向性・考え方さえ見つけていけばよいという意識で)
- 考え方の発表は, 最後まで一人の子どもが…ではなく途中で区切り他の子どもがつなげる
- 分からない・できない子どもの「どうして」「どんなところが」などを取り上げ, みんなで解決しようという意識をもたせる
- 早くできた子どもの活用 *子ども対子どもの方が理解する時間が短い場合が多い
- ペアやグループ学習の工夫や充実

3 そのほか(お願い・確認等)

- 応援団の活用** *家庭科など校内で行う授業においても活用してください。
- 研修アンケートについて** *後日配付しますのでよろしくお願いします。
- 家庭学習(一勉)ノートコーナー**
更新を図っていきますので,「ノートまるごと1冊」または「あるページのコピー」を随時提供してください。
- 生活・総合の取組について** *次年度以降にも生かしていくために…
 - ・学習の際に用いたシート・資料等の整理と共有
 - ・見本となる子どものシート等をコピー・保存しておく。
 - ・「学習マップ」を作成する。
 - ・変容を客観的に把握するためのアンケートの実施と分析 *後日用意します。
 - ・(生活科のみ)実践のまとめ *2月の研究発表に向けて

4 H30年度全国学力・学習状況調査「仙北市結果分析・改善委員会」より

①学力向上に向けた市内各小学校の主な取組

- ・単元のゴールに言語活動を設定
- ・「課題」(〇〇にはどんな求め方があるのか?)と「めあて」(~しよう)の区別を明確にしつつ,可能な限り「課題」として提示
- ・振り返りの充実(2~3文で書く,次時につながるようなものを記載させる,視点を提示する,振り返りを生かした授業づくりなど)
- ・2~4人組でのグループ活動・伝え合いの場の設定(司会・記録・発表等の役割を分担しながら)
- ・「(何が)分からない」を伝えたり,大切にしたりした授業づくり
- ・問題文の読解力を向上させる(アンダーラインを引くなど)
- ・国語辞典の積極的な活用(付箋を使いながら)
- ・家庭学習の充実(全員のノートを展示,メニュー表の活用,ノートが完成したら校長先生に届ける,グループノートの活用,ページ数ではなく学習時間を重視している,など)
- ・ホワイトボードの活用
- ・スキルタイムの充実
- ・板書構成の工夫

②小中での話合いから(小中連携)

- ・中学生になると家庭学習(一勉)に取り組まなくなる傾向がある。
→小学校でできていることを大切にしながら取り組んでいきたい。
- ・聞き取る力がかなり不足している
*最近のテレビの字幕の影響か…
→小テストでは,口頭で問題を読み上げ,答えさせるような取組をしている。
- ・全国学テや県学習状況調査の結果を共有したい。
- ・小中の各校の教員による授業参観のみならず,実際に指導も行ってみたい。
- ・中学校の生徒会のほうで,小学校に出向き,あいさつ運動を行いたいと考えている

11月27日(火) 特支計画訪問・特支セミナー 日程

□ 来校者

指導主事 A. 先生 (南教育事務所仙北出張所)
協力校派遣教員 S. 先生 (せんぼく校)

□ 日程

・ 9:30～10:15

通級授業提示

(前半20分参観) K.・K.・M.・F.・T.・W.・T.・校長
(後半20分参観) K.・C.・Y.・M.・T.・N.・S.・教頭

・ 10:35～11:20

竹組授業提示

* 全員参観

・ 11:30～12:15

特支セミナー協議 (校長室)

* 校長・教頭・教務主任・研究主任・通級担任・所属学級担任 の計6人

1. 校長あいさつ
2. 授業者から
3. 協議・指導助言

・ 14:50～16:30

全体研修会 (校長室にて)

* 本校教員全員参加

1. はじめの会 (5分)
 - ① 校長あいさつ
 - ② 本校教職員自己紹介
 - ③ 指導していただく先生方の紹介
2. 竹組授業研究会 (50分)
 - ① 授業者から (5分)
 - ② グループ協議 (30分)
 - ③ 指導助言 (20分)
3. 研修 (35分)
 - ① 講義 (30分)

仮)「合理的配慮を要する事例とその対応について」
～小中学校の通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある児童生徒の事例とその対応を中心に～
 - ② 質疑応答 (5分)
4. 終わりの会 (5分)
 - ・ 校長あいさつ